

全学自由ゼミナール 地球惑星環境学

後期 月曜5限(16:20~17:50) 教養学部107教室

講義内容

地球の環境は、どのように形成され、進化し、変動してきたのだろうか。地球はその表面に液体の水をたたえ生命に満ちあふれた唯一の惑星である。このような地球の環境の成立と進化には、大気や海、生命圏、そして固体地球の活動が深く関与している。本ゼミナールでは、惑星としての地球の環境と進化を特徴づける、大気や海が存在、固体地球の活動、気候進化、生物進化、生命と環境の関わり、地球環境の変動などに関する新しい知見を紹介し、地球環境がどのように形成され、進化し、変動してきたのか、その歴史とメカニズムを理解することを目指す。

2007年予定

10月15日	第01回	ガイダンス・地球惑星環境の形成(田近)
10月22日	第02回	地球環境の安定性と進化(田近)
10月29日	第03回	全球凍結・スノーボールアース(田近)
11月05日	第04回	プレートテクトニクス(岩森)
11月12日	第05回	地球の熱史(木村)
11月19日	第06回	大陸の形成・成長(木村)
11月26日	第07回	化石の実際例(大路)
12月03日	第08回	捕食者と被食者の共進化(大路)
12月10日	第09回	生命進化史と表層地球環境(大路)
12月17日		(休講)
01月07日	第10回	K/T境界における巨大隕石衝突と生物絶滅(多田)
01月15日†	第11回	ヒマラヤーチベットの隆起とアジアモンスーンの成立(多田)
01月21日	第12回	急激な気候変動と太陽活動(多田)
01月28日	第13回	地球環境の現在・過去・未来(多田)

†この日だけは月曜日の授業が火曜日に行われるので注意

評価は出席とレポート(ゼミ内容からひとつトピックを選んで自由にレポート)

参考書

「進化する地球惑星システム」(東京大学地球惑星システム科学講座編)
東京大学出版会, pp.236.

担当教官: 大学院理学系研究科地球惑星科学専攻/ 理学部地球惑星環境学科

田近英一 (tajika@eps.s.u-tokyo.ac.jp)

木村 学 (gaku@eps.s.u-tokyo.ac.jp)

大路樹生 (oji@eps.s.u-tokyo.ac.jp)

多田隆治 (ryuji@eps.s.u-tokyo.ac.jp)